

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

令和6年12月1日

所在地 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾 3181

企業名 株式会社ミヨシグループ

代表者 代表取締役社長 三好正一

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当グループは未来のあるべき姿として『世界のすみずみに1粒のタネから生まれる新しい「きれい」「おいしい」を届ける』ことをビジョンとし、それを達成するために『オンリーワンな種と苗の開発を通じて世界中の生産者と共に豊かな社会づくりに貢献する』ことをミッションとして掲げています。当グループのSDGs活動においては、このビジョン・ミッションを念頭に独自のテーマを設定し、そのテーマに沿った目標を達成するために積極的な活動を展開していきます。

3側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日: 令和4年12月1日	
✓環境 □社会 □経済	化学農薬および化学肥料の使用量を削減する(2019年を基準)	化学農薬の使用量削減 現状: 11%削減 ⇒2030年 30%削減	社内プロジェクトを中心に国内各事業所に展開。 2024年削減実績 48%	(進捗率) 100%
✓環境 ✓社会 □経済	地元地域の社会福祉と環境整備に取り組む	花苗の寄付(毎年) 現状: 3000ポット ⇒2030年 6000ポット	北杜市および県内の保育園、小中学校にペチュニアなど4100ポットを寄贈	(進捗率) 68%
✓環境 □社会 ✓経済	栄養繁殖系イチゴよりも育苗時の環境負荷が低い種子系イチゴの品種開発と普及拡大を進める	種子系の販売比率向上 現状: 10% ⇒2030年 40%	種子系イチゴ「ベリーポップシリーズ」「よつぼし」普及販売。 販売数に占める種子系比率 75% (2024年実績)	(進捗率) 100%

2030年の目指す姿

同僚への配慮・尊敬・愛情をもって個性を發揮できる明るい職場づくりに取り組み続けている。
持続可能な社会の実現のために環境への取り組みを推進し、また、社員一人ひとりがSDGsを念頭にした事業活動に取り組み、持続可能な経営が両立できている。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。